

大五建設社内報

令和4年11月18日発行

～第102号～

編集:イメージアップ委員会

＜アスファルト補修＞

先日、クリーン&セーフティー委員会が敷地内のアスファルト補修を行いました。ひび割れ箇所を研ってから補修材をいれ、しっかりと転圧していただきました。

ちなみに、天然のアスファルトは古代から使用されてきた事がわかっています。紀元前3800年頃の古代メソポタミアで天然アスファルトが接着剤として用いられており、紀元前3000年頃の古代エジプトでは、ミイラの防腐剤としても使用されていました。『日本書紀』には「燃える水」と「燃える土」が、越の国から天智天皇に献上されたとの記録があり、燃える水が石油で、燃える土が天然アスファルトであると考えられているそうです。
(安藤金光)



＜皆既月食と惑星食＞

11月8日に皆既月食がありました。地球上で発生する皆既月食としては今年の5月16日ぶりですが、今回は月食と同時に天王星が月の裏に隠れる、天王星食が同時に発生しました。他の惑星を含めて、月食の間に惑星食が発生することは非常に稀な現象です。

次に惑星食が発生するのは2235年6月2日の土星食だそうです。日本国内で皆既月食間に惑星食が発生したのは、1580年7月26日に発生した土星食以来約440年ぶりとなります。

(宮本)



＜青年部会全国大会＞

11月2日に大和ハウス工業様の青年部会全国大会にオンラインで出席しました。群馬支部からは、部会長を務める藤井建工(株)の藤井社長が大阪の会場まで行きました。

講演では村田副社長のお話があり、これからの建設業界について、どうしたら若い世代に魅力を感じてもらえるか、働きたいと思える職場にしていけるのか、など建設業界がかかえている問題について聞きました。

その他の講演では「カーボンニュートラルへの挑戦」や、「建設DXの推進」といった最新技術・未来に向かっての今後の取り組みかたなど学びました。
(高田)



<富岡周辺グルメレポート>

【そばMARU】

住 所 : 安中市 中宿123-13

営業時間 : 11:00~14:00 (ランチ)

定休日 : 火・水曜日

安中駅の西側の高架脇にあります。マスターが一人で営業していて、ワンコインで食事が出るように努力しているそうです。写真の値段は税込の値段です。パスタも何種類かあります。うどんの汁は少し濃いめで、サンキューセットは白身フライとコロケにハーフの麺が付いて、390円と手ごろな値段となっています。ちなみに夜は居酒屋として営業しています。

(高田)



<ホースの置台>

社員出入口にある水道の横のホースの置台を、クリーン&セーフティー委員会の清水さんが作り直してくれました。今まであった台が雨や水で濡れて傷んでいたのが、新しくなり見栄えもよくなりました。

普段目にしてはいるはずのものでも気付けないことがあります。環境をより良くするため、こういった細かなことにも気付き、すぐ対応して頂いたクリーン&セーフティー委員会の皆さんありがとうございます。

(浅川)



<消防秋季点検>

10月23日に、富岡小の校庭で行われた消防の秋季点検に参加しました。市長の観閲式から始まり、服装点検・備品点検を市長や市議会議長をはじめとする来賓の方々が閲覧して回ります。また、消防隊が行進を行いました。

これから乾燥する季節になり、火災多発期に入るので、火の元の安全確認をよく行いたいと思います。

(宮本)



<夕日>

東の駐車場からの景色です。帰社途中、きれいな鱗雲が秋の空を彩っていました。会社に近づくにつれ、淡い暮れ方の日光が、鱗雲を照らし、ほのかに赤い縞模様を浮き立たせ、赤く染まっていきました。駐車場に入る頃、赤く染まった雲は灰色にかわり夕暮れていきました。

秋の太陽は高度が低く、かなり斜めに沈むため、地上付近の空気層を長く横切ることから日射しが弱まります。また、日の入りも早まっていることから、日暮れが早く感じられ、井戸の桶が落ちる様にたとえて「秋の日は釣瓶(つるべ)落とし」と言われます。この日の太陽もみるみる沈んでしまいました。

(安藤金光)

